

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年2月18日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|---|
| 事業所番号 | 4677500128 |
| 法人名 | 社会福祉法人 陵幸会 |
| 事業所名 | グループホーム 陵幸園こころ |
| 所在地 | 鹿児島県鹿屋市吾平町麓3811番地2 (電話) 0994-58-5055 |
| 自己評価作成日 | 平成26年1月18日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|------------------------------|
| 評価機関名 | NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構 |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号 |
| 訪問調査日 | 平成26年2月7日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様がその能力に応じ自立した日常生活が送れる様家庭的な環境の下で援助しています。ホーム周辺には畑や山もあり、住み慣れた景色が広がりホームの菜園には四季折々の野菜を作り、共に収穫を楽しみ喜んでおられます。利用者様一人一人の人格を尊重し野菜の選別、掃除、洗濯物たたみ、配膳の手伝いなどそれぞれの役割を持って生活されています。ドライブや散歩等で地域へも出かけ気分転換にもつながり、知人の方との再会を楽しみにされ、地域子供会との交流会や中学生の体験学習、ボランティアの受け入れ等も行われ、馴染みの関係もみられています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、同法人の特別養護老人ホームやデイサービスセンター・地域包括支援センターなどが隣接している。周囲には民家も多く、散歩やドライブの際には、挨拶や会話を楽しめる環境である。地域住民も事業所に気軽に立ち寄り、野菜を差し入れしたりお茶を飲んだりして、地域との良好な関係が築かれている。
- ・災害対策として、定期的な避難訓練と自主訓練を行っている。隣接している同法人の事業所とは相互協力関係が構築されている。安全対策の整備がなされ、具体的な改善については運営推進会議での助言を活かしている。
- ・協力医療機関との医療連携体制が整っており、本人や家族にとって安心である。
- ・職員と利用者は事業所開設時から馴染みの関係が維持され、楽しい雰囲気を保ちながら生活しており、家族からも信頼されている。
- ・管理者も職員を育てることに力を入れ、職員はケア対応等のさらなる向上を目指している。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | 運営理念をホーム内に掲示し、毎月発行しているところ便りやパンフレットにも理念を掲げて職員全員で共有し、実践につなげている。 | 理念は職員で話し合い、本人・家族・地域との絆を大切にとの思いで独自の理念を作っている。玄関やホールの壁に大きな字で理念を掲げ、パンフレットにも掲載している。理念をミーティングや会議で確認し合っ、よりよいサービスが提供できるよう努めている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 外出時気軽に地域の方と声をかけ合ったり、地域の奉仕作業にも定期的に参加したり消防訓練等への協力を依頼し地域の方々の協力、参加をいただいている。 | 地域行事や清掃活動に積極的に参加し、散歩や買い物の際には挨拶や会話を交わしている。地域住民も気軽に立ち寄り、野菜や果物を差し入れしたり、お茶を飲んだりしている。災害訓練にも参加がある。夏休みには幼稚園児や小学生との交流も行っている。中学生の体験学習やボランティアの受け入れも行っている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。 | 散歩時に花や野菜をいただいたり手作りの菓子を届けたりしている。地域子供会、その父兄の方も遊びに来られ交流を持っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 4 | 3 | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>年6回会議を開き、意見交換の場を設け話し合いを行いサービス向上につなげている。消防訓練、災害救護用非常食、防災頭巾、、、)</p> | <p>会議は定期的で開催し、事業所の状況や外部評価の結果報告等を行い、現在取り組んでいる内容についても意見を貰うようにしている。そこでの意見で、利用者に防災頭巾やヘルメットの準備、夜の避難に備えて手すりに発光性テープを貼ることなどを取り入れ、運営に活かしている。</p> | |
| 5 | 4 | <p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p> | <p>運営推進会議に地域包括支援センターの職員に参加して頂き意見交換協力等いただいている。又、地域の方のボランティア、中学生の体験学習の受け入れ等行っている。</p> | <p>市担当者とは、申請書類の提出の機会などにホームの報告や相談・介護保険の現状・ボランティア制度について等の情報を交換してアドバイスを受けている。市主催の研修会にも積極的に参加し、日頃から協力関係ができています。</p> | |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>拘束しないケアを基本としている。職員は勉強、周知を図り対応している。</p> | <p>母体法人で身体拘束廃止委員会が設置され、年2回の定期的な勉強会を実施している。ホームでも毎月勉強会を開催している。職員の意識を高める為、外部の研修会にも積極的に参加して身体拘束をしない取り組みを行っている。昼間は玄関の施錠をせずに職員間の連携で自由な暮らしを支援している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 研修への参加やケア会議、勉強会の中で取り上げ、防止に努めている。その都度職員間で検討対応している。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 自立支援はプラン作成より検討し、職員はプランに沿って支援している。成年後見制度は以前利用された事例もあり職員が理解し対応出来る様にしている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 利用者や家族に不安点や疑問等尋ね、十分に説明し理解の上契約している。解約も同様である。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 何でも話せる雰囲気作りに努めている。ご意見箱を設置している。 | 利用者からは日頃の生活の中で思いや意見等を聞いている。家族からは、家族会で利用者の活動を写真などで報告したり、家族との親睦を図っている。家族会で職員は入らず家族だけで意見交換の時間を作っている。後で話し合われた内容を職員みんなでも検討しサービスの向上に繋げている。面会時もよい機会としている。意見箱も設置している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>定期的に会議を開き意見提案を出せる機会を設けている。問題発生時にはその都度ミーティング等、検討会を開いている。</p> | <p>管理者は、日頃から職員とコミュニケーションを図り、申し送りやミーティング・ケア会議等で職員の意見や気づきを聞く機会を設け、その反映を図るよう心がけている。勤務体制も気軽に調整できるように配慮して、利用者への影響がないようにしている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>個々の都合をできるだけ反映させた勤務体制とし意見を取り入れやりがい、向上心につなげている。</p> | | |
| 13 | | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>認知症その他の勉強会や法人内外の研修会への参加の機会を推進している。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>他施設との研修発表会や意見交換等の機会を作り、他施設の良い点は導入している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 本人が安心して過ごせる様傾聴観察を行い、ミーティング等の機会を通して気づいた事など参考にして支援している。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 家族の事情や意見等を十分に伺い何でも相談出来る信頼関係作りに努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご本人の状態把握に必要な優先順位を見極めて支援を決めている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 洗濯物干し、たたみ、掃除、野菜の下ごしらえ、配膳、下膳など残存機能に応じて日常生活の家事等職員と一緒にしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 家族の方の訪問時には一緒に過ごす環境の雰囲気作りや又出かけたりに出来る環境を整えている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 散歩や地域の商店に買い物に行ったり、町内の文化祭等、見学に出かけたりして、知人の方と会う機会を作る様にしている。 | 馴染みの友人や知人の訪問を奨励して、その関係を継続できるよう働きかけ支援に努めている。家族の協力でよく行っていた美容院や墓参や外食にも出かけている。馴染みの商店に買い物に出かけたり、近所の友人がよく面会に来て、以前住んでいた自宅に郵便物があれば、ホームに届けてもらうこともある。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者同士で会話しながら洗濯物たたみや野菜の選別等楽しく出来る様雰囲気作りに努めている。関心のある事等を把握し共同作業等楽しめるよう企画している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 入院等で退所されても入院先を訪問したりして、家族とのつながりを保ち相談にのっている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 本人やご家族に要望等、聞いて意向の把握に努めプランを作っている。 | 日常生活の中で会話しながら時々出てくる思いや意向を汲み取り、ミーティングや会議で話し合っている。意思疎通の困難な場合は、家族や馴染みの友人知人からも情報を得て、申し継ぎ帳や引継記録などを利用して職員で話し合い、意思の把握に努めている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 家族や他機関より情報収集を行いこれまでの生活歴や思いを把握するよう努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日常生活の中で現状の把握に努め、全職員が現状を把握出来る様に努めている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人、家族、職員の意見等を聞き計画を作り、カンファレンスを行い必要に応じて計画修正を行っている。モニタリングを定期的に行い反映している。 | 本人や家族の意向を汲み取った上で、職員でカンファレンスを行い介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを実施し、見直しは6ヶ月毎に行っている。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>介護記録を記入し、変更等は申し継ぎ帳やノートに記入し全職員が情報共有出来る様にしている。計画との相違点はその都度検討し見直しに活かしている。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>本人、家族の状況変化に合わせて意向を聞きながら施設と調整し対応策を検討している。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>地域子供会、父兄との交流会やボランティアや中学生の体験学習等の受け入れも行っている。民生委員との意見交換の機会も設けている。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>主治医による訪問診療を月2回実施している。かかりつけ医と連携をとり、相談出来る体制の中で、適切な医療が受けられる様支援している。</p> | <p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関から月2回の訪問診療がある。通院は家族の協力を得ながら支援している。緊急時の対応など医療連携体制ができており、利用者や家族にとって安心できる環境である。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>介護職員は利用者の変化に気づいたらかかりつけ医や看護師に報告し適切な受診や看護が出来る様支援している。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院時医師と面談の時間をとっていただいたり、家族と一緒に説明を受ける様にしている。退院後の受け入れ等連携を図っている。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>重度化や終末期については、家族の意見を伺い話し合っている。事業所で可能な対応についてもきちんと話し理解を得るようにしている。</p> | <p>重度化対応に係わる指針を契約時に説明し同意を貰っている。看取りに関する考え方を利用者本人や家族と話し合い、意志確認を取りながら対応している。緊急時は特別養護老人ホームの看護師による24時間対応や必要な援助の体制を段階的に家族と話し合い、医療連携して対応している。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>マニュアルを作成、全職員で周知徹底を図っている。応急手当等定期的に訓練を行い必要に応じ検討している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 定期的に訓練を実施し、確認を行っている。地域住民の協力依頼を行い、実際に地域の方の訓練参加の協力もいただいている。 | 消防署の指導で防災訓練を地域の住民も含めて年2回実施している。ホーム内では毎月行っている。緊急通報システムやスプリンクラーの設置がある。手摺に誘導用の夜光テープが貼ってあり、各部屋にヘルメットや防災頭巾が壁に掛けてある。各部屋の入り口に避難誘導が済んだか誰にでもわかるように目印の工夫がされて、非常用の備蓄もある。 | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 日常の会話でも丁寧な言葉で接する様心がけ、部屋への出入りの際は声をかけ対応している。職員は本人のプライバシーに関する事は他言しない様、徹底している。 | 馴れ合いにならないように、言葉かけやさりげないケアをして人格の尊厳を重視しプライバシーの確保に努めている。内部・外部の研修会に積極的に参加し資質向上に努めている。カーテンなどの活用をしたり、入浴は個浴で対応している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者の意見や思いなど聞きながら何でも話せる雰囲気作りに努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 本人のペースや体調、思いなどを考慮しながら行っている。個性を大事にし希望に添える様支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している | 本人の好みに応じ衣類を選んだり髪染めやカットになど馴染みの美容院へ行かれたりして継続して楽しんでいただいている。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 定期的に嗜好調査を行い、献立作成に反映している。野菜の下ごしらえや準備・片付け等、行い職員と一緒に同じ物をいただいている。 | 毎週、メニュー会議をして利用者に嗜好を聞き、利用者の希望に添った献立を工夫している。利用者の力量に沿って、準備や後片づけを職員と一緒にしたりしている。誕生会や行事食・外食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。近所の人からの野菜や果物の頂き物や敷地内の菜園でできた野菜を使って楽しんでいる。そば打ち作りなど利用者も手伝ってもらっている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>利用者の状態に応じ食べる量や食事形態も工夫しミキサー、粥、刻み、トロミ食等調理している。個々に食事摂取量や水分量を記録し把握に努め管理栄養士のアドバイスを定期的にもらい支援している。</p> | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p> | <p>毎食後や外出後には口腔ケアの徹底に努め、担当を決め口腔ケア実施表に記録している。必要に応じて歯科受診につなげている。</p> | | |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p> | <p>個々に合わせトイレ誘導を実施排泄パターンの把握に努めている。尿意、便意がなくてもトイレでの排泄を促し、支援を行っている。</p> | <p>排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握し、職員のさりげない声かけやこまめなトイレ誘導を行ない、トイレでの排泄を大切にしている。尿意・便意の回復をめざし、オムツの利用を減らす支援を行なっている。食物繊維の多い食材や水分補給などで食生活を工夫し、自然排便に取り組んでいる。</p> | |
| 44 | | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p> | <p>排泄チェックを毎日行い水分補給や運動を促し、便秘予防の為食物繊維の多い食材を取り入れたり、服薬等の調整も行っている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | それぞれの希望、ペースに合わせて楽しんでいただけるよう、又入浴を拒否される方は安心してもらえるよう声かけ、雰囲気作りに努めている。 | 入浴は基本的に週3回、一人ひとりの希望に添った入浴が楽しめるように支援している。更衣室や風呂場を暖かくしたり、入浴がスムーズにできるようにしている。入浴をいやがる利用者には、職員間で連携し、入浴剤を使ったり、声かけの時間をずらしたり、順番を変えるなど、柔軟に対応している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | それぞれの意向に沿って対応して安眠につなげている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 個々の処方内容を把握し病状を理解し、服薬変更時には報告記録し周知し服薬支援している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 個々の生活歴、趣味、経験等を把握し生活の中に活かしている。野菜の下ごらえ、掃除、洗濯物たたみ、レク参加等気分転換の支援をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p> | <p>ドライブや散歩、菜園の野菜や花壇の花の収穫に出かけたりして本人の希望を把握し変化ある生活に努め日常的に外出を支援している。</p> | <p>日常的には近隣の散歩を行っている。一人ひとりの楽しみごとに合わせて買い物、菜園の野菜の収穫をしたりしている。計画を立てて花見やドライブなどにも出かけている。家族の協力で墓参や美容院、外食にも出かけている。重度の利用者も特種車両で外出支援ができるようにしている。</p> | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>個々の金銭能力を把握、買い物時は本人が支払う機会を作っている。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>希望に応じて電話をかけたり、取り継いで、いつでも家族等とのやりとりが出来るようにしている。代弁便、手紙やはがきの代筆等も行っている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>季節を感じていただけるよう野菜や植物等育てている。利用者と一緒にリビングの飾りつけ等行っている。細めに温度、湿度調整を行い過ごしやすい環境作りに努めている。</p> | <p>玄関前庭の花壇には季節の花が植えてある。共用の空間は換気や採光に配慮し、清潔で明るい。ホールには利用者と職員と一緒に作成した作品が飾られ、家庭的な雰囲気である。フロアにはソファが多く置かれ、好きな場所でくつろげるように配慮されている。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>気の合う者同士が自由にくつろげるスペースがあり、リビングや廊下のソファや椅子でゆっくり過ごされている。</p> | / | / |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>本人や家族と相談しながら、使い慣れた家具や物品を持ち込まれ居心地良く家庭的な雰囲気作りに努めている。</p> | <p>居室は洋室と和室があり、電動ベッドと整理タンスは備え付けである。テレビや時計・籐椅子・ラジオなど、本人が使い慣れたものや写真など持ち込まれ、安心して生活できる配慮がされている。防災用のヘルメットが各部屋に掛けられていることや、部屋の入り口に避難ができたか、できていないかの「めやすになるカード」が下げている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>施設内外はバリアフリーで物干しの高さ調整や廊下、洗面所、トイレ、浴室等手摺りを設置し、使い慣れたシルバーカーを持って来ていただき安全で自立した生活が送れるよう工夫している。</p> | | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1 毎日ある |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまにある |
| | | | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | | 2 家族の2/3くらいと |
| | | | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1 ほぼ毎日のように |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまに |
| | | | 4 ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1 大いに増えている |
| | | | 2 少しずつ増えている |
| | | | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | | 2 職員の2/3くらいが |
| | | | 3 職員の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |